

■佐藤みねこさん



さとう・みねこ
 ■誕生日_大正2年1月3日
 ■住所_藤沢町藤沢
 ■撮影日_1月7日
 ■場所_自宅

笑顔絶やさず朗らかに暮らす

農業を営み、養蚕や葉タバコなどを生産してきたみねこさん。体を動かすことが好きで働き者です。編み物や手芸が得意で、今もなお、作ったものをよく友人にプレゼントして喜ばれています。誰にでも声を掛け、明るいまねこさんの長寿の秘けつは、何でも食べ、笑いを絶やさず朗らかに生活することです。

重ねた歲月刻んだ年輪

百年目の寿

日本史の中で、最も短い時代である大正時代。大正元年から2年にかけて生まれ、百歳の誕生日を迎えた5人を紹介します。

■菊池カツミさん



きくち・かつみ
 ■誕生日_大正2年1月5日
 ■住所_大東町大原
 ■撮影日_1月5日
 ■場所_味処えび松(大原)

手先が器用で多くの文化刺しゅうを手掛ける

カツミさんは、24歳で芳次さんと結婚し、子3人、孫7人、ひ孫10人がいます。手芸が得意で、これまでに大小あわせて30作品以上の文化刺しゅうを手掛けてきました。普段は居間でテレビなどを見て楽しみ、家の周りを散歩することもあります。デイサービスに毎週通い、話語りするのが楽しみの一つです。

■三浦ミツエさん



みうら・みつえ
 ■誕生日_大正元年12月10日
 ■住所_宮前町
 ■撮影日_12月10日
 ■場所_一関ナーシングホーム(真柴)

健康な歯を持ち、足腰が丈夫

ミツエさんは、22歳で忠さんと結婚し、子3人、孫5人、ひ孫6人がいます。国立岩手療養所に20年以上勤務し、昭和51年には勲7等瑞宝章を受章しました。労をいとわず、歩いて通勤したことで足腰が丈夫だといいます。民謡を歌うことが好きなミツエさん。自分の健康な歯で、ゆっくりと食事を取ります。

■亀卦川徳さん



きけがわ・のり
 ■誕生日_大正2年1月11日
 ■住所_花泉町老松
 ■撮影日_1月11日
 ■場所_自宅

他人を心配り、テキパキと働く働き者

徳さんは、病気をする暇もないほど一生懸命働いてきたといい、看護師や小売商店の店主などをしてきました。テレビを見るのが好きで、暴れん坊将軍などの時代劇をよく見ます。今は、娘の由子さんと二人暮らし。「他人に迷惑をかけないように気を張ってきたことがよかったのかも」と振り返りました。

■佐藤勝志さん



さとう・かつし
 ■誕生日_大正元年12月21日
 ■住所_舞川
 ■撮影日_12月23日
 ■場所_老健さいき(東山町)

いろんな技術を身に付けて頑張りました

農業一筋の勝志さん。農業に従事する傍ら鍛冶、大工、左官や板金なども自分でこなしました。字を書くことや機械いじりが大好きでした。サツマイモとはつとうが好物でよく食べたといい、それも長生きの秘けつです。100歳になった感想を尋ねると「ありがとう」と感謝の気持ちを言葉にしてくれました。

一関商工会議所と藤沢商工会が合併調印

13.Dec 2012



「一関商工会議所・藤沢町商工会合併調印式」は2012年12月13日、ベリーノホテル一関で行われ、関係者らが見守る中、宇部貞宏会頭と菊地平一会長、立会人の勝部修市長と田村均次県南広域振興局長が調印書に署名しました。

両商工会は、11年9月の一関市と藤沢町との合併を受けて、一関市商工団体広域連携等検討委員会を設置。その後、合併協議会を経て合併を決定しました。

宇部会頭は「経済の要として、商工会の歴史文化を継承しながら、新しい一歩を踏み出したい」と話し、菊地会長は「先人たちが築いた52年の幕を閉じる。寂しさや不安、これからの希望に複雑な思いだが、まちづくりのために精進していきたい」と決意を述べました。

新「一関商工会議所」は4月1日に発足。藤沢町商工会は、合併日までに解散し、同会の事務所は支所として存続する予定です。

藤沢の徳田地区活動組織が農地・水・環境保全向上対策活動モデル賞受賞

17.Dec 2012



藤沢町の「農地・水・環境保全向上徳田地区活動組織」(千葉ひろあき代表)が、「岩手県農地・水・環境保全向上対策活動モデル賞」を受賞。いわて結っこシンポジウム(2012年11月28日、盛岡市)の席上、表彰されました。

関係者は12月17日、市役所本庁を訪れ、勝部修市長に喜びを報告。同組織は「ひまわりの里」づくりを目指し、▶ヒマワリの植栽活動による遊休農地の有効利用と景観形成活動▶稲作体験水田「がんぱつ田」の設置▶収穫祭を開催し、地元住民と沿岸部から避難してい

る人たちとの交流一などを行っています。また、地域の子どもたちを対象に米作り体験、学習会、ホテル観賞などを開催しているほか水生生物調査、水路清掃なども続け、地域を挙げて環境保全に取り組んでいます。こうした住民一体の地域コミュニティ活動が評価されました。千葉代表は「各自治会の協力があってこそこの受賞。これを励みさらに頑張りたい」と決意を語り、勝部市長も「他地区にない取り組み。本当の意味のモデルとしてこれからも継続してほしい」と今後の活躍を期待していました。

いわて農林水産躍進大会で市内から3団体、1人が表彰

08.Jan 2013



昨年12月18日、盛岡市で行われた「いわて農林水産躍進大会」(いわて農林水産振興協議会、県主催)で市内から3団体、1人が表彰されました。農林水産業や農山漁村の振興に尽力した個人と優れた組織・集落などを表彰したものです。

受賞者は1月8日、勝部修市長に喜びを報告。このうち、花泉町の熊谷信義さん(75)は、金流川東部土地改良区理事・理事長を歴任し、土地改良区合併後は花泉土地改良区理事長を務めるなど、同改良区の運営に尽力。岩手県農林水産業表彰で県知事賞を受賞しました。熊谷さ

んは「受賞は大変光栄なこと。皆さんの協力のおかげ。これからも農業発展に努めていきたい」と意欲を見せていました。勝部市長も「農業情勢が厳しい中での受賞を大変心強く思う」とたたえました。

受賞した個人、組合組織は次のとおりです。①岩手県農林水産業表彰(県知事賞)▶熊谷信義(花泉)②いわて農林水産振興協議会会長表彰▶農事組合法人おくたま農産(千厩)③岩手県中山間地域モデル賞(県知事表彰)▶上油田3区中山間集落協定会(花泉)▶深堂京ノ沢集落(藤沢)